

育成会だより

2021年度 第3号

発行 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会

〒668-0031 豊岡市大手町7番9号

TEL: 0796-24-3660

FAX: 0796-34-6433

[E-mail] toyoteiku@tuba.ocn.ne.jp

[URL] <http://www.toyoteiku.com/>

編集 本部事務局 2022年1月25日

新年のご挨拶

皆様、明けましておめでとうございます。残念ながら今年もまた、あまりおめでたい気分ではないのですが…。ようやく終息に向かったかと思われたコロナウイルス禍も、オミクロン株という非常に感染力の強い新たなウイルスの出現により、通常に戻りかけていた社会生活がまた様々な制限を余儀なくされることになりそうな状況です。

そのような中でも、感染予防をしつつ、出来る限り普通の生活を送りたいものです。障害のある方々は状況理解が困難なため、よりストレスを抱えてしまわれる中で、少しでも普段通りにとの思いで、法人としては年間のイベント・行事等、コロナ禍なりの在り方で実施してきました。はばたけ旅行は、前年同様小グループに分かれて行い、フェスタははばたけもまた前年と同じく、地域の皆様に向けてのご案内はできませんでしたが、利用者さん・スタッフで『ほっとステージ』を盛り上げました。当番地区に当たっていた但馬ブロック研修会では、従来の講師の先生をお迎えしての講演ではなく、グループホームで過ごす利用者さんたちの発表という形式をとりました。とてもわかりやすく良かったと好評でした。

コロナ禍というピンチをチャンスに変え、今あるものはより充実を！無いもので必要なものは必ず築き上げる！その心意気で決して歩みを止めず、突き進んでいく所存です。皆様のご理解ご協力をお願いし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

理事長 中井 佳与子

但馬ブロック保護者研修会

去る令和3年11月18日に豊岡市民プラザにて、但馬ブロック保護者研修会を開催致しました。

「障害児者が地域で当たり前で生き生きと暮らす」ことを改めて考えるために、障害者ご本人にグループホーム・日中活動などの日常生活を発表と映像、支援者の声を交えて紹介していただきました。その後、質疑応答の時間を設け、「障害者の自立」について考え、障害児者の保護者として私たち（保護者）は何をすべきか再確認する貴重な時間を持つことが出来ました。



生活介護 じゃんぷ より

メリークリスマス

(*^^*)♪

お正月気分が薄れ、いつもの毎日が戻ってまいりました。

常日頃より、じゃんぷ職員一同は、利用者さんがワクワクするような体験ができるよう取り組んでまいりました。

去年のクリスマス商品の配達時には、サンタの格好をして配達に出かけました。

利用者さんは気分上々で出発しました。

配達先ではとても好評で、各学校で特に評判が良く、児童、生徒さんが「サンタさん！」と手を振ってくれました。利用者さんもそれに応えて、手を振ったり、「こんにちは！」と挨拶をされていました。

少しの工夫と変化で、いつもの配達が特別な行事に変わった日でした。

利用者さんの安全、安心、健康を考慮したスケジュール管理を大切にしながら、今年も新しい挑戦を継続していこうと考えております。〈H〉



生活介護 ほっと より

去る 12 月 18 日は、“フェスタはばたけ 12th” が開催されました。今年も規模を縮小しての開催でしたが、どんな演技が観られるのかなぁ～とワクワクしていました。

塩津の利用者さんは、黒衣装に赤いサンタ帽子を被り、白い手袋をはめて「組み体操」を披露されました。練習では、スタッフが動画を撮り、これなら「イケる！」と確認し、はっちと Bee 班の合同練習を始めました。すると、どうでしょう！皆さん戸惑うこともなくスムーズに合同練習に取り組みられました。もっと極めていきますので楽しみにしてくださいね。



LAULAU の利用さんは、フラダンスを披露しました。女性利用者さんと職員、(実は 1 名・女装の男性職員がいました) がパフスカート・レイ・髪飾りを身にまとい、男性はアフロヘアに蓑を着けハワイアンを表現しました。初めて衣装を身に着けた時は、皆さんウキウキになり笑顔満開でした。毎日、フラの音楽に合わせて振付を練習しました。そして本番！！皆さん、ステージで波や太陽を表現でき素

敵なフラダンスになりました。とても楽しい一日を過ごしました。

そしてクリスマスに、女性はウエディングドレスやカクテルドレスを着て、頭にはベールを付けて写真撮影をしました。最高の笑顔で立ちポーズ、カメラ目線もばっちり。こんな表情ができるなんて最高！皆さん、とても素敵でした。

また、12 月は 3 人の方のお誕生日会でした。それぞれが、トライしたいことや好きな歌を発表され楽しいひと時を過ごしました。

そして、新年明けてからは初詣に行き、今年の抱負をお祈りしました。素敵な一年でありますように!! 〈N〉



就労継続支援B型 すい一つ より

すい一つの利用者さんの中に、耳の不自由な方がいらっしゃいます。

彼は耳が不自由ですが、人とコミュニケーションを取るのがとても好きな方です。しかし、耳が聞こえないため、自分が思うようなコミュニケーションが取りにくいことで、日々もどかしさを感じていらっしゃるのではないかと、スムーズなコミュニケーションのためには、やはり手話が必要なのではないかと考え、職員や他の利用者さんたちと共に、手話を覚えていくことに決めました。

彼ともっとコミュニケーションを取れるようになるため、一般的な手話より、彼自身が使っている手話を覚えることにし、そのためには、彼自身が手話の先生になり、みんなに教えてもらってはどうかと、話を持ちかけてみました。すると、こちらの思いを受け止めていただいたようで、二つ返事で引き受けてくださいました。

まずは、他の利用者さんや職員の名前を表す手話と、日常のあいさつ言葉から始めることにし、朝の会や終わりの会で、彼と職員で前に立ち、みんなと手話講習をしています。

毎日ほんの少しずつですが、これを続けていくことで、将来的には、誰もが

手話で会話できるようになり、コミュニケーションの輪が広がることを期待しています。今後もみなさんにとって すい一つが居心地の良い場所になるよう、進めていきたいと思ひます。〈M〉



グループホーム OHANA より

令和4年も早ひと月が過ぎますが、グループホームにご入居されている皆様方も各々マイペースに過ごされています。

年末年始をグループホームで過ごされる方も居られ、ささやかながら年越しそばやおせちを用意させて頂き皆で食べました。

新型コロナウイルスが長期化し、外出や人との接触が制限されているということもあり、結果として利用者さんがグループホームで過ごされる時間が増えております。

利用者さんは、皆でお喋りをするのが好きな方も居れば、一人で過ごすのが好きな方も居られます。ボール遊びが好き、テレビで野球を観るのが好き、料理をするのが好き、絵を描くのが好き、等それぞれ色々な楽しみを持って居られます。

そういった事を大事にし、皆様にとって有意義に充実した時間を過ごせるような「家」で有る事が出来ればと思ひ次第です。〈U〉



障害児通所支援事業 つくし よい

フェスタはばたけ 12th のステージイベントに、今年もつくしの子どもさんとスタッフと一緒に参加しました。「さて、どんなことをしようかなあ?・・・」と、スタッフが頭を抱えていると、1人の子どもさんが、「この曲はどう?」と、iPadで「ツバメ」の曲を流しながら提案してくれました。



そして、振り付けも、一緒に出演するみんなのことをよく考えて、構成してくれました。「にじ」の手話もすることに決まり、みんなで楽しみながら、一生懸命練習しました。

本番当日、お母さん方にアレンジして頂いた緑色のおそろいの衣装を着て、元気いっぱい笑顔で堂々とした、それぞれの子どもさんらしさを感じるダンスでした。

スタッフは、子どもさんのことより自分が踊れるかヒヤヒヤ?!・・・子どもさんのダンスをチラチラ見て、ワントーン遅れながら?!必死で踊っていました。

企画から本番まで、子どもさんに助けられ、子どもさんの存在が心強く感じるフェスタでした。

新しい年も、子どもさんの元気と笑顔溢れるつくしでありますように、と願っております。〈S〉



ヘルプステーションはぁと よい

利用者さんに、グループホームでの余暇を楽しんで頂く為 OHANA 職員とヘルパーで相談し、行動援護の買い物時間を利用して絵本を購入しました。

音の鳴るものに興味を示されるので、月に一度のご褒美にマラカスやタンバリンの楽器も仲間入りさせました。どれも気に入られた様で、嬉しそうな表情で手に取られたり、メロディに合わせて体を動かされています。その為、居室でお一人の時間も楽しく過ごす事ができるようになりました。



げんこつやまのたぬきさんなど大好きな童謡が流れると楽器を持ち満面の笑みで演奏。音楽に親しみながら楽しい時間を過ごして頂けるようになりました。〈A〉



編集後記

まだ寒い日が続きますが、暖かくしてコロナ予防をしていきましょう。〈S〉